

平成29年度当初予算

総額 352億4,254万6千円

一般会計 214億3,000万円

桜川市の基本となる平成29年度当初予算が、平成29年第1回桜川市議会定例会で、可決・成立しました。市財政の中心となる一般会計予算額は214億3,000万円、国民健康保険特別会計など6つの特別会計と水道事業会計を含めた予算総額では、352億4,254万6千円となり、前年度当初予算の合算額と対比して約12.2%の増となります。

今月号では、主に一般会計予算の概要を歳入・歳出別にお知らせします。

●平成29年度当初予算一覧

区分	平成29年度予算	前年度の当初予算との増減率(%)
一般会計	214億3,000万円	19.3%
特別会計	国民健康保険	68億2,853万2千円 △0.9%
	農業集落排水事業	4億2,769万3千円 1.4%
	公共下水道事業	6億4,627万7千円 5.3%
	介護保険	41億1,154万円 6.8%
計	介護サービス事業	1,181万円 △16.5%
	後期高齢者医療	3億7,406万3千円 4.4%
水道事業会計	14億1,263万1千円	9.7%
合計	352億4,254万6千円	12.2%

歳入

市に入ってくるお金

一般会計の歳入のうち最も多いのが、事業を実施するために国などから借り入れられる市債で、全体の約28%を占めています。続いて多いのが地方交付税で、一定の基準により国から配分されます。次に多いのが、市民税・固定資産税・軽自動車税などの市税。そして、国庫支出金は、国からの補助金。以下、県支出金、地方消費税交付金などの順になっています。

※(一)内は、構成比率

一般会計の歳入 (市に入ってくるお金)

- ①市債 60億3,220万円 (28.2%)
事業を実施するために長期的に国などから借り入れる収入
- ②地方交付税 51億3,000万円 (23.9%)
所得税・消費税などの国税の一部を国から交付される収入
- ③市税 45億4,168万1千円 (21.2%)
市民税、固定資産税、軽自動車税など
- ④国庫支出金 21億3,966万3千円 (10.0%)
学校や道路などの建設、扶助費などに対して国から補助される収入
- ⑤県支出金 11億2,618万9千円 (5.3%)
学校や道路などの建設、扶助費などに対して県から補助される収入
- ⑥地方消費税交付金 6億4,460万1千円 (3.0%)
県に納付された消費税の一部を県から交付される収入
- ⑦諸収入 4億35万5千円 (1.9%)
学校給食費や高額療養費返納金などの収入
- ⑧繰越金 3億円 (1.4%)
- ⑨繰入金 2億8,059万2千円 (1.3%)
- ⑩その他 8億3,471万9千円 (3.8%)

市民1人(1世帯) 当たりはこんな金額

市の予算を市民の皆さんに身近に感じていただくため、平成29年度一般会計予算の歳入(市税)と歳出を、市民1人(1世帯)当たりで表してみました。金額は、4月1日現在の人口と世帯で割ったものです。

- 市民の皆様が負担する税を1人(1世帯)当たり換算すると **10万4,671円 (29万6,300円)**
- 市政に使われるお金を1人(1世帯)当たり換算すると **49万3,893円 (139万8,095円)**

※人口/43,390人
世帯/15,328世帯
(平成29年4月1日現在)

歳出

市民の皆さんのために使われるお金

一般会計の歳出では、総務費が最も多く、市立病院整備や公共交通、情報管理などに使われます。続いて多いのが、高齢者や障害者・児童などの福祉の充実を図る民生費です。次に多いのが、学校給食センターや市立学校などの教育費。以下、健康促進、環境保全、ごみ処理などに充てられる衛生費、公債費、土木費、農林水産事業費、消防費などの順になっています。

※(一)内は、構成比率

一般会計の歳出 (市民の皆様のために使われるお金)

- ①総務費 59億3,826万4千円 (27.7%)
市立病院整備、公共交通、情報管理など
- ②民生費 57億443万4千円 (26.6%)
社会福祉サービス、生活保護など
- ③教育費 32億8,866万7千円 (15.4%)
学校給食センター、市立学校など
- ④衛生費 15億9,876万4千円 (7.5%)
健康促進、環境保全、ごみ処理など
- ⑤公債費 14億6,500万円 (6.8%)
市の借入金の返済など
- ⑥土木費 13億2,335万7千円 (6.2%)
道路や公園の建設や修繕など
- ⑦農林水産事業費 9億7,563万1千円 (4.6%)
- ⑧消防費 7億8,146万5千円 (3.6%)
防災対策、消防、救急救命活動など
- ⑨その他 3億5,441万8千円 (1.6%)



平成29年度 一般会計主要事業の予算

ハード事業

(建物の建設・修繕、道路整備など工事をすすめる事業)

総務費▶市立病院整備事業…38億4,556万6千円、大和駅北地区開発整備事業…3億4,496万4千円

教育費▶桃山小中一貫教育校建設事業…17億8,145万円

土木費▶道路新設改良事業…1億9,725万3千円、道路維持事業…7,817万1千円

ソフト事業

(ハード事業以外の事業)

総務費▶情報管理事業…9,612万5千円、公共交通事業…4,931万5千円

民生費▶障害者福祉事業…8億7,074万4千円、老人医療給付事業…6億3,484万4千円、児童手当事業…6億2,823万円、介護保険事業…6億885万4千円、国民健康保険事業…6億601万4千円、生活保護支給事業…5億4,538万9千円、子どものための教育・保育給付事業…3億8,119万6千円、医療福祉事業…3億2,716万5千円

教育費▶学校給食センター事業…2億6,087万7千円、小学校管理事業…1億6,342万8千円、中学校管理事業…7,766万9千円

衛生費▶清掃総務事業…6億3,161万9千円、保健衛生総務事業…5億3,184万9千円、予防総務事業…8,024万2千円

農林水産費▶多面的機能支払交付金事業…1億7,170万円、霞ヶ浦用水事業…1億1,668万4千円